

第43回全国ミニバスケットボール大会に出場して

名池ミニバスクラブ 白川万智

予選リーグは難なく二勝して、決勝トーナメントに進みました。

3/29 Dブロック予選リーグ

対 高平台クラブ（熊本県） 60 - 23

対 林寺ミニバスケットボールクラブ（大阪府） 63 - 23

3/30 Dブロック決勝トーナメント

準決勝戦

対 浜松相生飯田ファルコンズ（静岡県） 47 - 30

決勝戦

対 片岡小ミニバスケットボール部（群馬県）

		6	1Q	21	
		9	2Q	10	
名池	44	13	3Q	1	39 片岡小
		16	4Q	7	

第1クォーター

立ち上がり、片岡小は3-2のゾーンディフェンスで高さを生かしてパスカットからリズムをつかみ、素早い展開でゴール下のシュートに持ち込む。片岡小#5#8が得点を重ねていく。名池も#4白川を軸に攻めるものの終了間際に片岡小#5のロングシュートが決まり、15点差という、大きなリードを奪われた。

第2クォーター

逆転を狙う名池は激しいオールコートのディフェンスを仕掛けていく。名池#6松村の体を張ったプレイでボールをものにすると、#5進藤のロングシュートが決まりだす。しかし、片岡小も#4の巧みなゲームコントロールで名池の追撃を許さない。15-31とじわりと片岡小にリードを広げられて前半を終えた。

第3クォーター

落ち着いて時間を使おうとする片岡小に対し、名池は5人が一丸となって粘り

強くディフェンスを続ける。すると、名池のマンツーマンディフェンスに片岡小、全く攻めきれなくなり、無得点が続く。たまたまタイムアウトをとる片岡小。結局、フリースローの1点に片岡小の攻撃を抑えた名池が流れに乗り、12点返して4点差とつめよった。

第4クォーター

第3クォーターの勢いそのままに、激しくボールを奪いにかかる名池。残り5分#4白川の力強いシュートでついに同点とすると、周りの選手のリズムもよくなり始め、あっという間に逆転し、残り4分を切ったところで6点差をつけた。最後まであきらめない片岡小もコートを走り切りボールにくらいつくが流れは変えられない。終わってみれば前半の16点差をひっくり返し、大逆転で優勝を飾った。

山口県初の、全国大会優勝、

6年生5人、5年生3人、4年生2人、3年生3人、1年生2人の、たった15人しかいない小さなチームですが、「夢はあきらめなければ、つかめる!!」

本当に良い経験になった、全国大会でした。